

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 4 月 6 日(2022.4.6)

【公開番号】特開 2020-163077(P2020-163077A)  
【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-041  
【出願番号】特願 2019-69510(P2019-69510)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 29 日(2022.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が通過可能に構成される第 1 球通路部であって、一方側から他方側に下降傾斜する第 1 球通路部と、

該第 1 球通路部内に形成された開口部から進入した遊技球を検出可能な検出部と、

該検出部により遊技球が検出された場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する遊技価値付与手段と、

所定の駆動手段により駆動されることで、前記開口部への遊技球の進入を規制する進入規制状態と、当該開口部への遊技球の進入を許容する進入許容状態とを切替可能な可動部材であって、前記進入規制状態である場合に前記球通路部を通過する遊技球を下側から支持しつつ前記一方側から前記他方側に案内可能な下降傾斜面として機能する可動部材と、前記第 1 球通路部における上側に設けられた支持部により吊り下げられて、当該第 1 球通路部を前記一方側から前記他方側へ流下する遊技球との接触によって前記支持部を中心に可動する可動接触部であって、静止状態において前記開口部を臨む向きで見た場合に少なくとも一部が当該開口部の上流側の端側に重なる位置に設けられた、当該可動接触部を可動させた遊技球の前記一方側から前記他方側への移動速度を減速させる可動接触部と、遊技球が通過可能に構成される第 2 球通路部であって、前記支持部に対する上方側を通るよう設けられた第 2 球通路部と、を備えていることを特徴とする遊技機。

30

40